

# 「子育てトークライブ」 笑ってるパパが家族を救う！



2月15日（土）の午前中、愛媛県総合科学博物館 研修室に、NHKすくすく子育てやあさイチなどでおなじみのファザーリング・ジャパンの小崎さん、徳倉さんをお招きし、すくすくスタイルで子育てについて語っていただきました。



コーディネーターは、(株)タイワでワーク・ライフ・バランスコンサルタントをされています近藤智佳さん。西条市・新居浜市から、子育てファミリー1組ずつが出演して、日頃の子育ての疑問を、お二人に質問しました。お二人の育休・育児のご経験から楽しいお話、アドバイスをいただき、楽しい時間を過ごしました。



- 質：「引っ込み思案で、内弁慶な息子。活発なお姉ちゃんとは正反対。このままでいいのでしょうか？」
- 小：「子どもの個性はそれぞれです。大きくなるにしたがって、どんどん変わってきますよ。もしかしてお父さんの子どもの頃もそうでは？お父さんの好きなことに連れまわしましょう。お父さんの好きなことを子どもも好きになることが多いですよ。ちなみに僕は、生き物がとても好きで、子ども達と一緒にタガメを飼っています。笑」
- 質 = 質問者      小 = 小崎さん



以前から子育てに積極的に参加をするパパは  
いましたが、今ほど多くはありませんでした。  
かつてのパパたちはこう言います。

「子連れでスーパーに買い物に行ったら  
周りから怪しい目で見られた」、「父子旅行中に  
出会った人から『ママがいなくてかわいそうね』  
と言われた」、と。

この数年、子育てに熱心な男性がずいぶんと増  
え、街では赤ちゃんを抱っこし、ベビーカーを押  
すパパの姿をよく見かけます。「男は仕事、女は  
家庭」といった価値観に縛られない、新しいタ

イプのパパ、「イクメン」が増えています。会場にも、そんなパパの姿がたくさん見られました。



今回お招きしましたお二人が所属されますファザーリング・ジャパン（通称：FJ）がパパの子育てを広  
めることを目的に活動を開始したのが、2006年の秋のことでした。

FJは、年間300回を超える講座やイベント、ファザーリング・スクールなど様々な事業を展開する中  
で、「Fathering＝父親であることを楽しむ生き方」を提唱し、パパが子育てに関わることの大切さを訴え  
てきました。そして、たくさんのパパたちが「わらっている父親になろう」のメッセージに共感しています。  
子育てには正解はなく、パパのあり方は多様性（ダイバーシティ）があってよいのです。

子育ての悩みがすべて解決することはありませんが、「悩みも楽しい人生の1ページ」という感覚をもっ  
て乗り越えていきましょう。



たくさんのご家族に  
参加していただきました。  
ありがとうございました。



～会場には、おもちゃ図書館『きしゃポップ』さん(注1)の手作りおもちゃを置いた  
キッズコーナーを設置しました。～



(注1) 発達に遅れがあったり、心身に障害を持つため、上手に遊べない子どもたち、また人との  
かわりがよくできない子どもたちが、お母さんや優しいボランティアさん、地域の子供たちとおもちゃで遊ぶことによ  
っていきいきと楽しい時が過ごせますようにと願って設けられた移動図書館です。

手作りのおもちゃやいろいろな  
おもちゃでいっぱい楽しい  
おもちゃ図書館です。



布のやさしい手作りおもちゃに  
子供たちは夢中!



父親が積極的に子育てすると、それまで見えなかったことが見えてきます。子どもの成長により影響があ  
るのはもちろん、家族や夫婦の絆が強まりますし、男性が家事にいそしむことで生活力が磨かれます。また、  
家庭という枠を超えて学校のPTAや地域活動に参画すれば、職場では味わえない達成感を得られ、一生付き  
合える隣人ネットワークができます。そうしたことによって父親自身の世界が広がり、人間としての幅も広  
がって、それが本業の仕事にも生かされることは間違いありません。



～出演者みんなで記念撮影～